

編集人：ぶくぶくの会 〒564-0025 吹田市南高浜町1-17-2A (総務)
TEL 06-6317-5598、FAX 06-6317-0936 Mail: so-mu@puku-2.com URL: www.puku-2.com
代表：馬垣安芳 編集長：上田かおり 1部200円
年間購読料：個人会員2000円 広報会員(3部)5000円
法人会員1口(5部)10000円 賛助会員(1部)10000円
振替口座00940-0-161341
「まねき猫通信」



もくじ

とくしゅう かぜききんねん ざだんかい
特集：ゆめ風基金20年をふりかえる座談会 - 2
りーえっせい とつぜんまご すずきつとむ
リレーエッセイ：突然、孫ができた - 鈴木勉 - 4
しんぶん げんぱつさいかどう けいこく いしづかなおと
新聞・原発再稼働への警告 - 石塚直人 - 5
れんさいくすのきとしお ひと しごと しそう
連載：楠敏雄 - その人その仕事その思想 - 6

題字：
塩澤 文男
(しおざわ・ふみお)



にじいろねこ

絵：Kさん&あら

トリの眼・ムシの目・ニャンコの目

大阪の若いもん3人が「女の口説き方」を説く。A「何ちゆうても、決めゼリふは短く、さりげなく、しかもバシつと。愛してるとか、付き合ってください、てなこと言うてたらあかんで。僕なんか：へええか？V？、これで口説いたんや」B「へええか？V：アホくさ。そんなもん長すぎるわ。俺はな：へどや？V、これでウン言わした。どんなモンや！」C「へどや？V：お前、まだ修行が足らんで。儂の決めゼリふ、おせ(教)たるか：へな？V、これで落としたり」A「B「恐れ入りました」▲この話実は上方落語の枕でよく使われるエピソードである。時間をかけずに手際よく、しかも外連味なく「ことを首尾良く成就させる」のが男であり、それが男らしさだというわけだ。そこに「落ち」が絡まって「粋な話」が出来上がる▲「女流落語家」が増えたが、落語の世界そのものはあくまで「男」の世界。やもすれば「男尊女卑」や「男は度胸、女は愛嬌」などといった陋習やステレオタイプ、つまり女性差別が罷り通ってしまう。だからこそ、一廉の噺家なら、女を卑下した上で成立する「男らしさ」ほど非人間的で醜いものはないことを知っている。一方、「男に口説かれた」高市早苗、櫻井よしこ等は、それを知らない。(ハギ)

ゆめ風基金の20年をふりかえる座談会

ゆめ風基金誕生秘話

パネラー 小室等・牧口一・河野秀忠



阪神大震災をきっかけに生まれた「ゆめ風基金」は、20年の節目を迎えました。ゆめ風基金は、20年間に海外も含めて計3億4千万円を被災地の障がい者（児）に届け、東北大震災に対しては、16年間に寄せられた基金のすべて2億円を東北関東に届け、活用されています。

4月19日、呼びかけ人代表の小室等さんが来阪され、牧口一さんと河野秀忠さんが加わって座談会「ゆめ風基金誕生秘話」（ゆめ風基金事務所・大阪市東淀川区）が行われました。20年も継続できた理由や今後の活動について語って頂きましたので、主な内容をお知らせします。（文責・編集部）

牧口：阪神大震災が起こって、すぐに現地に入った河野秀忠さん（障害者問題総合誌「そよ風」のように街に出よう」編集長）が、神戸から電話してきて「マキさん、大変なことになってる。金を集めよう、10億円は要るなあ」と興奮して話したこと、ゆめ風基金の出発点といえるかなあ。ボクは「1億円も見ることがない。5億円ぐらいにしようや」と値切ったの思い出出すなあ（笑）。



小室等・ゆいさんライブも

場所ではない」と言われたり、「全体がたいへんな時やから」と相手にされなかつたり、という話もたくさん聞きました。牧口：本当にそうなんよね。日常生活でも、火事が起こったり突然に電車が止まったりすると、障がい者は一歩も二歩も遅れてしまうだけじゃなくて、後回しにされる。これを見て、事前の準備が必要だと思っただけ

河野：6月には「ゆめ風基金」が立ち上がり、様々な個人・団体が街頭募金を始めてくれました。集まったお金は、すぐに全額、神戸の被災地障がい者センターに届けました。「ゆめ風」のモットーは「一番必要としている人に、早く確実に」です。

必要としている人に より早く

河野：6月には「ゆめ風基金」が立ち上がり、様々な個人・団体が街頭募金を始めてくれました。集まったお金は、すぐに全額、神戸の被災地障がい者センターに届けました。「ゆめ風」のモットーは「一番必要としている人に、早く確実に」です。

今回の東北大震災にしても、スタッフが現地を回って緊急性

です。でも逆に、阪神大震災の時は、障がい者の力が発揮されたのも嬉しかったわ！被災地の彼らは長年創りあげてきた助け合いネットワークを活用して、西宮や神戸の避難所でもいち早く炊き出しを始めたよね。寒さに震える地域の人々に「日頃の恩返し」とばかりに暖かな豚汁を配ったんや。この心意気に後押しされて、「自分たちにできることをやらんといかん」と思っ、呼びかけ文を書き上げたんです。

結局、10年かけて1万円を提供してくれる人を全国から10万人集めよう、ということになったわけ。永六輔さんは、「10年計画がとて面白い」と、呼びかけ人代表を引き受けてくださり、本気で動いてくれました。河野：山田太一さんにも牧口さんとお願ひに行きました。趣旨や目的を話すと、「わかりました」と言っ、6万円差し出してくれた。これが、基金第1号の寄付となりました。

出よう」で発信されている内容は、マスメディアから流れてくるものと全く違っていました。きれいな事ではなく、当事者の本音が真正面から語られていたのです。驚きの連続でした。大災害の時には、みんなが大混乱の中に投げ入れられます。健康者も右往左往するのですが、お二人から、障がい者は、震災などが起こる前からずっと被災した状態と同様の不自由な生活を強いられていて、それが障がい者にとっての日常であつたと聞かされ、そうか、そういうことをアピールしていくことも、ゆめ風の活動なんだと思えました。

困っている時にすぐに役立ててほしい、と願っています。牧口：「ゆめ風基金」の特徴は、私的支援であることです。公的支援は、公平性が求められるので、調査や審査に時間がかかります。でも「ゆめ風基金」は、不平等でもいいから必要と思えばすぐに届けるほうが、お金が生きると思っただけです。災害支援は、「必要性和スピード」が重要だと思います。

小室：最初から、そういう考え

方だったんですか？ 河野：当初は、障害者救援本部が集まったお金をすぐに被災地の障がい者団体に届けていたのですが、そのうち、酷い被害を受けた所もそれ程でもない所も同じでいいのか？と考え始めます。そこで、ゆめ風基金は、不平等を恐れずに、最も被害を受けた所に重点的に配分するという方針が定まっていきました。

今なお残る23万人近い避難者

かぜききんりじ やはた たかし
ゆめ風基金理事 八幡 隆司



東日本大震災から4年が過ぎ5年目に突入しました。阪神淡路大震災では、5年目ですべての仮設住宅が解消しましたが、今年2月時点での東北3県の避難者数は22万9千人にもものぼっており、まだまだ仮設住宅解消までには時間がかかりそうです。

災害復興住宅の計画を見ると、計画段階で2018年完成というものがあり、あと3年、震災から実に7年間も仮設住宅で暮らす人たちがいます。

先日テレビ報道で、女川町の復興速度が非常に早く住民参加が進んでいるとのことでした。しかし女川町の人口減少は震災前と比べ3割以上となっており、とりわけ自力で住宅再建をした人の7割が町外に引っ越しています。東北では他の市町でも2割以上人口が減っているところが多くあります。さらに厚生労働省の社会保障・人口問題研究所(社人研)が昨年発表した2040年の将来人口推計では、岩手県沿岸自治体で41.6%人口減少が進むと予想しています。

仮設住宅の孤立死は、昨年度震災後最多となる44名の方が亡くなりました。数少ない災害復興住宅に移住した人からも孤立死した人が出ています。災害復興住宅の高齢化率は初年度から5割以上のところが多数あり、阪神淡路大震災での復興住宅が震災から20年の時を経てようやく高齢化率5割を超えたというのですから、違いは歴然です。大船渡市では入居時点で8割近い高齢化率のところもあります。

深刻な福祉、保育、医療などの専門家不足

高台への入居については「以前のようにスーパーも病院も近くにあって、便利な生活からは程遠い」と、嘆く声も多くあります。

また福島県では原発事故の影響により、福祉や保育、医療にかかわる人手不足も深刻です。それらの業務に関わっていた職員が避難のために県外に移住してしまい、新たに入ってくる人もない状態です。いわき市の障がい者自立生活センターの長谷川さんは「1万枚のビラを配布したが、実際に雇用に結びついたのは一人。現在の利用者には派遣時間を短くすることで、新たな人への対応をしていくしかない」とこぼします。

宮城県北部や岩手県沿岸部では、震災の前からヘルパーが不足しています。陸前高田市に住む視覚障がい者の方が、「震災前からヘルパー派遣を2時間希望しているが、ヘルパーが足らなくて1時間しか派遣してもらえない」とおっしゃっていました。

震災をきっかけとして、東北の福祉の底上げをとみんなが願ってはいませんが、その道のりは相当に険しいものだといえます。

世界を見る窓

牧口：当初は10年計画だったのが、既に20年経ちました。小室さんには2代目呼びかけ人代表

として協力して頂いています。小室：あつという間に10年が経って、永六輔さんが最初の約束どおり代表を退任されることになりました。その折に、

「永六輔さんと河野さんが、「話がある」と来られて、「永六輔さんが『後任は小室さんにやってもらいなさい』とおっしゃって

ます」と说得されたわけですよ。僕は、永六輔さんの弟子筋の末席にいますと思ってるので、

師匠からの指名をお断りできるはずもありません。永さんの働きには遠く及びませんが、お引き受けすることにしました。

この運動が長く続いているのは、支えるスタッフの皆さんが凄いいからです。それぞれの役割を背負い、志をもって活動されているからでしょう。

ゆめ風の活動は、被災者に役立っていることを実感できるのですが、その実感がまたス

タッフたちを支えているのかも少し残念。

牧口：そう、言われてみれば小室：口幅たく言わせていた

だと、ゆめ風の根底にあるのは、

「世の中は、なんて理不尽なんだ」という怒りだと思

います。その怒りを銃や暴力によつて表現するのではなく、怒りをパワーにして、少しでもいいから理不尽さに直面している人

の力になろうという気持ちです。人の痛みというものをわ

かっているからでしょう。牧口：大金を預かるのは怖かつ

たけど、まあやってこれたなあ。小室：ゆめ風の運動と付き合っ

て思うことは、普段だったら気がつかない世の中の不条理や

不当なことを提示してくれる、でないもの」を願っているの

です。世界を見る窓になつてくれ

るんだと思います。この窓がなかったら見えなかったことがた

くさんあると感謝しています。世の中では「世のため人のた

め」として様々な活動が行われていますが、往々にして私利

私欲や名譽欲などが顔を出してくるのが少なくありません。

人間は、知らずにそうなるしまつていることに気がつかない

ものです。他人のことを偉そうに言える立場ではありません

が、それでも人は同時に「そう

と、そこに「世界がこうあつて

欲しい」と思う姿を見つけてこ

と、それが「世界がこうあつて

と、そこに「世界がこうあつて

と、そこに「世界がこうあつて